

やりたいこと どんどん伸びろ！



西脇 舞（岡山市立上道中学校出身 陸上競技部）

オリンピック陸上競技800mメダリストの人見絹枝さんの母校であり、多くの著名人を輩出している、操山高校に合格した日から、部活動と勉強の両立を決意し、また、覚悟もしました。

競技をしていく上で睡眠不足は不利なので、宿題と予習は、自分の集中力がある早朝にしたり、集中力をより高めるために必要なことも調べたりしました。

新しい環境の中で戸惑うこともたくさんありましたが、そのたびに先生方や先輩方、友人に助けてもらったと思います。おかげで、インターハイ準決勝進出、全国ユース大会4位入賞、大阪室内陸上競技大会優勝と、自分でも信じられないくらいの競技成績を収めることができました。今後も、部活動で得た集中力や粘り強さを発揮して、さらに高い目標に向かって努力していきたいと思います。

和氣 宏昭（岡山市立興除中学校出身 弓道部）

「操山高校を受験しよう!」と決めたときに一番気にかかったことはやっぱり、併設中学校の「内進生」と呼ばれる人たちについていけるか、部活と勉強を両立させられるか、の2つでした。今、操山高校に興味を持っている皆さんもそうではないですか？

はじめは簡単にはいかなくて戸惑うこともあるけれど、それでも「ここまではやろう」って決めた内容を毎日こなして、操山高校が推奨する「予習、授業、復習」のサイクルに乗れば、自分の志望や夢に向かって満足のいく生活リズムを作ることができます。もちろん勉強だけで毎日が終わるわけでもなくて通学時間を好きな読書にあてたり、自分次第で1日をずっと充実したものにできています。

そんな中で部活も弓道部で一からの挑戦でした。勉強と両立させながら今では部長になり、試合にも出て、本当に毎日が楽しめています。毎日自主練で行っている朝練もテスト週間中には有効な勉強時間にできるし、「時間の使い方」をどれだけ発見できるかで、一日をどんどん有効にさせられる、そんなことを操山高校に入って見つけることができました。

1人で受験して1人で通うことになった操山高校だけど、環境は十分に整っています。自分の意欲次第でどこまでも毎日が充実させられる、操山高校はそんな学校です。



What's Sozan?

■ 高校の授業は難しいですか？

「操山高校の授業は、他の高校と比べてもスピードはかなり速めです。ですから、毎日の勉強のサイクルを確立させることが必要となってきます。しかし、逆に言えば、忙しい生活の中で、要領よく勉強する技能を身に付けるようになりますし、慣れれば、生徒たちは皆、自分なりに工夫して勉強できるようになります。

また、操山高校は自由な校風の学校ですが、だからこそ、生徒たちは受身ではなく、自主的に学習する姿勢を身に付けるようになります。自分なりに勉強していく上で、もちろん困難もあるでしょうが、試行錯誤を繰り返して初めて自分にあった勉強法を見つけ出すことができると思います。ただ押し付けられたものを覚える、というのではなく密度の濃い授業の中で、本当に大切なことを気付かせてくれる。それが、操山高校の授業です。

高2 吹奏楽部



■ 校則は厳しいですか？

誰でも守れる校則を守れない人は社会に出ても苦労してしまうことが多いのではないのでしょうか。このことを、操山で僕は学びました。勉強だけでなく、こういった初歩的なところにも目を向ける操山を、大変だと思わず、スゴイところだと思えたあなたは、文武両道を実践できる我が校にふさわしい人です。

高2 野球部

